

## 大学の世界展開力強化事業（平成24年度採択）中間評価結果

大 学 名	東京大学
整理番号	I - 2
構 想 名	アジア都市環境保健学際コンソーシアムの形成

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b style="font-size: 2em;">S</b>	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
(コメント)	<p>本プログラムは、東京大学とタイ及びインドネシアの大学が大学院レベルの教育・学問の交流を目指して、医工連携を展開している。中でも、都市環境保健学という都市環境工学と国際保健学を融合した新しい学際分野を形成し、国境を越えた感染症リスクに対する備えと対策という課題に対して、科学の発展と健康の維持の面から貢献しようとする意欲的な取組が中心となっており、非常に注目される取組である。</p> <p>単位互換制度に関する取組は、講義内容や単位の換算方法、取得可能な単位数の上限等の明確な基準を設けるなど、細かく配慮されており、学生交流に関しては、短期間の集中講義も利用しているが、座学のみでなく、演習形式による学生同士のグループワークや発表を組み込むなど、実践的講義になるよう工夫している点は評価できる。また、派遣学生は、事前に英語での講義や討論経験を積んでおり、実際に海外研修参加後のアンケートにおいても、積極的な学生交流成果や英語でのコミュニケーション能力の向上が示されている。その他、教育の成果を示すために、学生や教員のシンポジウムへの参加や発表が行われ、英語での講義や講演、更にパネル討論等により、質の保証を図るなど、種々の面で工夫が見られる優れた取組を行っている。</p> <p>日本とアジア諸国の相互の都市環境と保健衛生の改善に取り組むために、言語の違いを克服し、異なる環境においても耐えうる人材を養成するために積極的な交流を推進しており、交流学生数も数値目標を上回る十分な実績を上げていることから、将来の指導者養成という事業目的を達成することが期待される。</p>